



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ナルネットコミュニケーションズ 上場取引所 東
 コード番号 5870 URL <https://www.nal-mt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 隆志
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 東村 大介 (TEL) 0568(20)9111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	7,368	19.3	561	269.2	549	280.7	334	413.1
2025年3月期第3四半期	6,176	7.5	152	△55.4	144	△56.1	65	△64.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	62.67	—
2025年3月期第3四半期	12.21	—

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	10,024	3,685	36.8
2025年3月期	9,916	3,428	34.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 3,685百万円 2025年3月期 3,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,762	14.3	723	63.7	708	64.6	430	80.6	80.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	5,332,100株	2025年3月期	5,332,100株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期3Q	一株	2025年3月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	5,332,100株	2025年3月期3Q	5,332,100株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかな景気の回復がみられました。国内では雇用、所得環境が改善する一方、米国の通商政策の動向による景気の下振れリスクのほか、物価上昇が個人消費に及ぼす影響等も懸念されます。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意が必要な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社は、新たなステートメントとして『移動を止めない 安心を創造する モビリティ・インフラ カンパニー』を掲げ、目指す姿としています。このステートメントには、「これまで蓄えてきた技術やノウハウを活用して、モビリティとそのマーケットが抱えている課題を創造的に解決する。」「安心・安全で、人にも地球にも優しく、快適な移動を着実に支えていく。」「モビリティ・インフラの役割を担い、広く社会に貢献したい。」という意欲が込められています。変化し続けるモビリティ業界が抱える新たな課題に対し、自動車メンテナンス受託事業を基盤に長年培ってきた現場に根差した対応力、外部パートナーとの密なコミュニケーション、再現性の高いメンテナンス管理サービスといった強みを発揮し、業界全体の“課題を解決する受け皿”として機能することで事業領域の拡大を図っております。

当第3四半期累計期間におきましては、当社は、ユニオンエタニティ株式会社と共同開発した車検プラットフォームのサービス提供を開始いたしました。当該プラットフォームは、当社が長年蓄積してきた整備データを活用し、車種や走行距離等から適切な整備費用を算出・定額化することでユーザーに透明性の高いサービスを提供するものです。2025年9月より生活協同組合コープさっぽろ（以下「コープさっぽろ」という。）の関連会社である株式会社エネコープに提供した当該プラットフォームを使用した車検サービスは、コープさっぽろの組合員を対象とし、多数の問い合わせをいただいております。今後は、流通業や小売業など広範囲な顧客基盤を持つ企業への横展開を加速し、新たな収益軸として確立してまいります。また、サステナビリティおよび人材戦略の観点から、当社は従業員が働きやすい環境づくりを推進しております。その成果として、2025年11月には、次世代育成支援対策法に基づく子育てサポート企業として、厚生労働大臣が認定する「くるみん認定」を取得いたしました。引き続き、従業員が安心・安全・健康に働くことができる「働きがい」を感じられる環境の確保に努めてまいります。

主力のメンテナンス受託事業におきましては、整備価格の上昇への対応として受託価格の見直しを継続的におこなうことによる収益性の改善や、長年の取引先であるオートリース企業からの受託の堅調な伸びに加え、自動車メーカー系リース企業からの受注増加等により2025年12月末時点の管理台数は、85,156台となり前年同期比で5.2%の増加となりました。MLS（マイカーリースサポート）事業におきましては、マーケットの成長が堅調に推移し、2025年12月末時点の管理台数は87,759台となり前年同期比で6.8%の増加となりました。BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）事業、その他事業を合わせた2025年12月末時点の総管理台数は211,646台となり前年同期比で7.1%の増加となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高7,368百万円（前年同期比19.3%増）、営業利益561百万円（前年同期比269.2%増）、経常利益549百万円（前年同期比280.7%増）、四半期純利益334百万円（前年同期比413.1%増）となりました。

なお、当社は自動車関連BPO事業の単一セグメントのため、事業のセグメント別業績については記載しておりません。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は5,013百万円となり、前事業年度末と比べ366百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が217百万円、売掛金及び契約資産が169百万円それぞれ増加したことによるものです。固定資産は5,011百万円となり、前事業年度末と比べ258百万円減少いたしました。これは主に顧客関連資産が140百万円、のれんが77百万円、ソフトウエアが45百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、資産合計は10,024百万円となり、前事業年度末と比べ108百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は5,317百万円となり、前事業年度末と比べ481百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が238百万円、契約負債が91百万円、未払法人税等が59百万円、その他に含まれる未払消費税等が59百万円それぞれ増加したことによるものです。固定負債は1,021百万円となり、前

事業年度末と比べ629百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が594百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は6,339百万円となり、前事業年度末と比べ147百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,685百万円となり、前事業年度末と比べ256百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益334百万円及び剰余金の配当79百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年11月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	859,483	1,077,442
売掛金及び契約資産	3,492,047	3,661,729
リース債権及びリース投資資産	171,604	166,338
商品	43,141	33,053
貯蔵品	5,242	5,447
その他	75,496	69,752
貸倒引当金	△379	△379
流動資産合計	4,646,635	5,013,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	375,242	359,398
賃貸資産（純額）	7,175	5,273
工具、器具及び備品（純額）	6,676	5,458
土地	267,040	267,040
リース資産（純額）	8,566	9,950
有形固定資産合計	664,702	647,121
無形固定資産		
のれん	1,490,113	1,413,039
顧客関連資産	2,723,100	2,582,250
ソフトウェア	327,091	281,344
ソフトウェア仮勘定	13,528	33,025
その他	2,693	2,693
無形固定資産合計	4,556,527	4,312,353
投資その他の資産		
その他	48,213	51,761
投資その他の資産合計	48,213	51,761
固定資産合計	5,269,443	5,011,235
資産合計	9,916,078	10,024,619

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,907,119	1,897,713
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	305,992	543,992
リース債務	2,341	2,880
未払法人税等	88,000	147,598
契約負債	1,287,232	1,378,950
賞与引当金	77,601	63,188
その他	418,427	533,616
流動負債合計	4,836,714	5,317,940
固定負債		
長期借入金	651,028	56,700
リース債務	6,335	7,249
退職給付引当金	145,903	157,774
繰延税金負債	847,469	799,894
固定負債合計	1,650,737	1,021,618
負債合計	6,487,451	6,339,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	76,790	76,790
資本剰余金	2,614,790	2,614,790
利益剰余金	735,528	989,714
株主資本合計	3,427,109	3,681,295
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,517	3,764
評価・換算差額等合計	1,517	3,764
純資産合計	3,428,627	3,685,060
負債純資産合計	9,916,078	10,024,619

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,176,283	7,368,793
売上原価	4,595,591	5,258,887
売上総利益	1,580,692	2,109,906
販売費及び一般管理費	1,428,669	1,548,633
営業利益	152,022	561,272
営業外収益		
受取利息	21	372
受取配当金	426	501
助成金収入	—	1,000
補助金収入	1,180	—
その他	458	466
営業外収益合計	2,087	2,340
営業外費用		
支払利息	9,661	11,271
固定資産除却損	—	2,888
その他	120	—
営業外費用合計	9,782	14,160
経常利益	144,327	549,453
税引前四半期純利益	144,327	549,453
法人税、住民税及び事業税	87,328	264,083
法人税等調整額	△8,131	△48,798
法人税等合計	79,196	215,285
四半期純利益	65,130	334,167

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

当社は、自動車関連BPO事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれん償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	94,108千円	125,094千円
のれん償却額	77,074千円	77,074千円
顧客関連資産償却額	142,450千円	140,850千円